

# パティンバン港開発計画（第三期）

令和7年1月11日

- ▶ 製造業や海外投資が集中するジャカルタ首都圏では、物流の取扱量が増加し、ジャカルタ北部に位置するタンジュンプリオク港では将来の需要に対応できない見通し。また、ジャカルタ首都圏の道路は慢性的な渋滞にあり、貨物交通量の分散も必要な状況。
- ▶ 本事業はジャカルタ首都圏東部パティンバン地区に新港（自動車ターミナル・コンテナターミナル）を建設し、将来の同圏内において増加する貨物需要に対応することを目的とするもの。今次第三期借款契約では総額834億800万円を限度として供与。
- ▶ これにより、ジャカルタ首都圏の物流機能が強化され、インドネシアの投資環境改善を通じた更なる経済成長に寄与するもの。

## 事業の概要

西ジャワ州スバン県パティンバン地区に自動車ターミナル及びコンテナターミナルを有する新港を建設するもの

Phase1-1（完工済）：護岸・防波堤工事、連絡橋・アクセス道路建設、自動車ターミナル・コンテナターミナル建設 等

Phase1-2（建設中・予定）：自動車ターミナル・コンテナターミナルの拡張

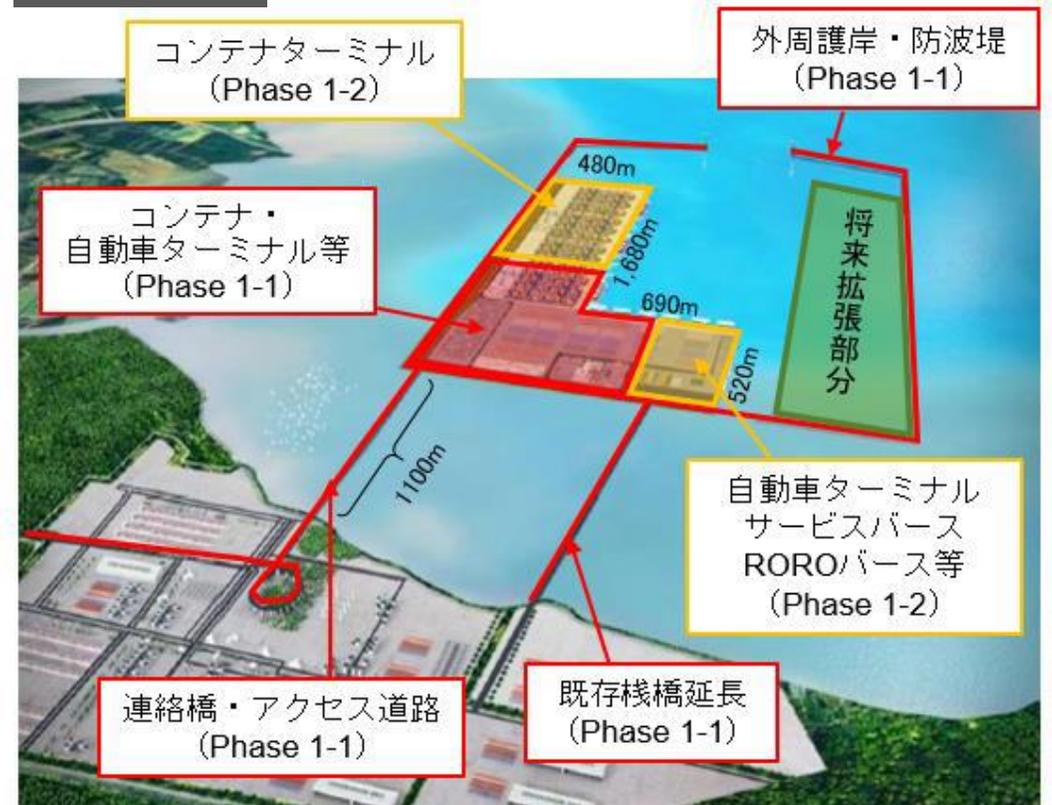
## 【参考】対象案件の限度額・供与条件

限度額：834億800万円 実施機関：運輸省海運総局（DGST）等  
金利：0.3%（コンサルタント部分は年0.2%。）  
償還期間：40年（10年の据置期間を含む。）  
調達条件：日本タイド

## 【参考】これまでの経緯

- ・2017年に第一期借款（約1,189億円）、2022年に第二期借款（約702億円）を供与済み。第一期借款契約調印後に建設が開始され、2021年には日系企業の参画により自動車ターミナルが開業済み。現在、自動車ターミナル及びコンテナターミナルの拡張工事を進めている。
- ・本事業に関連し、アクセス有料道路建設、後背地開発含む港湾運営能力強化、（スバン県と周辺自治体で構成する）レバナ地域の開発も支援している。

## 港湾概要図



※）赤枠部分は完成済み、黄色枠部分が現在工事中及び今後工事予定、緑枠部分は将来拡張構想（建設時期を始め詳細未定）